

コウモリのフン に困っているかたへ

はじめに

ときどき、特に夏に、ベランダや玄関などにコウモリのフンが落ちてこまるという話を聞きます。あなたの住んでいる場所が町中であつたら、多くの場合アブラコウモリのしわざと思われるます。日本にはおよそ35種のコウモリがいますが、町中でみられるのは、ほとんどがアブラコウモリです。

アブラコウモリは、小さくてとてもおとなしい動物です。野生動物とはほどよい距離をもってつきあうことが大切ですが、かといって必要以上に恐れられたり嫌ったりすることはよくありません。まずはその暮らしぶりをみていきましょう。



アブラコウモリ 体重6～7g。
家にねぐらをもつので、別名イエコウモリともいう。
北海道の一部（函館）～沖縄県に生息する。

アブラコウモリのフン

1cmくらいでねじれている。よくみると光る細かい破片（昆虫）がみえる。アブラコウモリは、川や畑の上や街灯のまわりなどで、ガ・甲虫・蚊などを食べます。その量は一晩で体重のおよそ30%にもなり、蚊になおすと300～500匹も食べる計算になります。



コウモリのフン
(撮影：三笠暁子)



なぜ家にすみつくの？

アブラコウモリは、昼間のすみか（ねぐら）として建物の一部を利用します。ただし、鳥のような巣をついたり、かじって穴をあけたりするわけではありません。ねぐらでは、昼間休んだり、子供を産んだり育てたり、また冬には冬眠したりします。ときには、夜だけとまり場として利用することもあります。



アブラコウモリの暮らし

昼間はねぐらにひそんでいて、日が沈むころになるとエサをとりにでかけます。一つのねぐらを利用するコウモリは、1頭～数十頭ときには100頭以上になることもあります。

1頭でいるのはほとんどがオスです。だいたいはメスばかりということが多く、オスがいても1～2頭です。メスは、年に1回、6月下旬から7月上旬にふつう2～3頭の子供をうみます。コウモリは哺乳類ですので、ちゃんとお乳で育てるのです。しかし、すべての子供が育つわけではなく、また次の年の春にはオスの子はどこかへいなくなってしまうので、それほど増えません。



アブラコウモリ (撮影：水野昌彦)

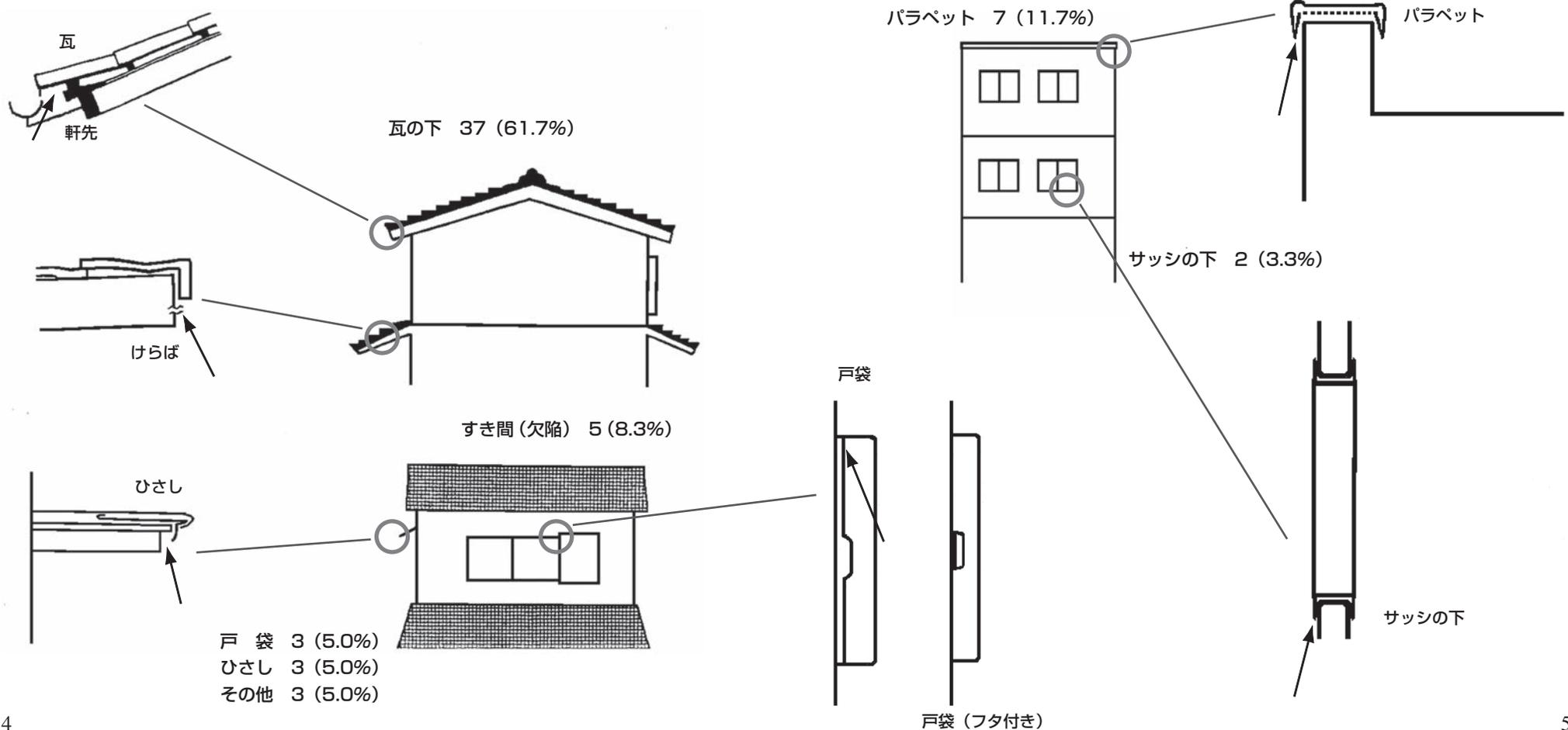
コウモリの利用場所を調べてみましょう

コウモリを防除するには、どこをどのように利用しているのかをはっきりさせなくてはなりません。夜だけとまり場として利用しているのか、昼間のすみかとして利用しているのかによって方法も異なります。

調べるポイントとしては、

- (1) フンの落ちている場所を確認する。
- (2) フンの落ちている場所の上に、穴（1 cm 以上のすき間があれば通りぬけられる）や黒ずんだ場所がないか調べる。あれば、コウモリがその場所を利用している可能性がある。
- (3) コウモリのきている時間帯を調べる。夕方（日没前後）コウモリがとびだしていくかどうか、夜間コウモリがとまっているか。

コウモリはこんな場所を利用しています。 [ねぐらの場所の、タイプ別にみたねぐら数とその割合 (%) 東京都府中市の場合 Yasui et al. (1997)]



コウモリが来ないようにするには

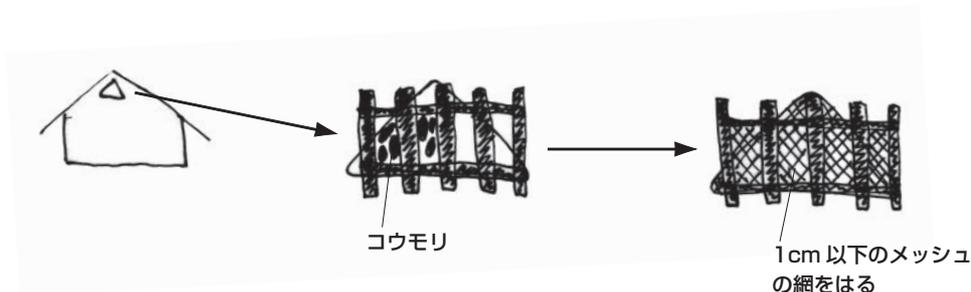
衛生的に問題があるなどコウモリが来ないようにする必要がある場合には、次のようなことに注意して行ってください。

完璧な方法はないので、いくつかの方法を試すことをおすすめします。

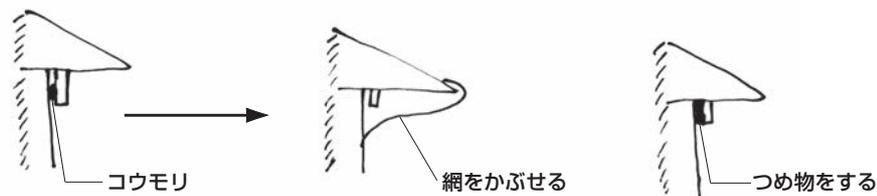
- (1) 建物に入れないように穴をふさぐ。これが完璧にできれば一番よい方法です。
- (2) ライトアップする。とまり場にコウモリがとまっているとき、灯りをつけると飛んでいってしまうことがあります。
- (3) 戸袋やシャッターカバーがねぐらとして利用される場合、戸の開け閉めをしていない場合が多い。開け閉めを毎日きちんとするようにする。
- (4) 夜のとまり場として外壁を使っている場合には、とまれないように壁をつるつるにする。

コウモリが入ってこれないようにする方法。

例1 1cm以下のメッシュの網をはって、奥へ入れないようにする。



例2 すき間などは、網をかぶせるか、つめ物をする。



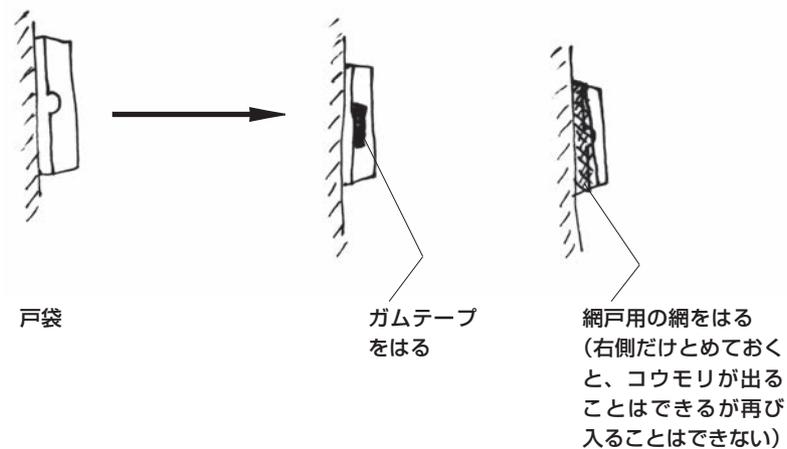
●守ってほしいこと

コウモリ類を、許可なく捕まえたり殺したりすると罰せられます。「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」で、野生鳥獣の捕獲は原則として禁止されています。

コウモリを追い出すときには、夕方、コウモリが出巢してから、ねぐらにもどってくる数時間の間に行う。あるいは、出れても入れないように仕組みにする。

いずれにせよ、時期は子供の飛べるようになる夏の終わりから秋に(9月ごろ)する。コウモリに対する影響を少なくするためと、中にコウモリを閉じ込めてしまわないためにです。

例3 戸袋は、ガムテープをはるか、網戸用の網をはり奥へ入れないようにする。



●コウモリの会からお願い

・特に山地や付近に広大な森のある地域に住んでいる方に、お願いがあります。めずらしい種類のコウモリが家にねぐらをもつことがありますので、コウモリのねぐらがみつかったら、ぜひコウモリの会までご連絡下さい。

例えば、乗鞍高原の宿泊施設では、希少なクビワコウモリの繁殖集団が見つかっています。

参考文献

船越公威 (1980) コウモリ類、特にイエコウモリの生態と人間との関わりについて
住環境の有害鳥獣対策レポート p.18-25.

川道武男編 (1996) 日本動物大百科1 哺乳類I . 平凡社 .

コウモリの会 (2011) コウモリ識別ハンドブック 改訂版. 文一総合出版, 88pp.

前田喜四雄 (1990) コウモリのふしぎな世界 . 大日本図書 .

増田辰樹 (1984) 科学アルバム 85 コウモリ . あかね書房 .

中川雄三 (2007) まちのコウモリ . ポプラ社, 35pp.

大沢夕志・大沢啓子. 2012. 子供の科学サイエンスブック 身近で観察するコウモリの世界 町を飛ぶ不思議な野生動物. 誠文堂新光社, 95pp.

Yasui, S., Maruyama, N., and Kanzaki, N. 1997. Roost site selection and colony size of the common Japanese pipistrelle (*Pipistrellus abramus*) in Fuchu, Tokyo. *Wildlife Conservation Japan*, 2(2): 51-59.



コウモリのフンに困っているかたへ

1999年7月25日第1刷発行
2020年5月20日第2刷発行

●文・イラスト 安井さち子

●編集・レイアウト 水野 昌彦

●発行：コウモリの会 〒249-0001 神奈川県逗子市久木 8-20-3 TEL/FAX 046-873-3677